



第二中だより

No. 605

生徒数 527 名

令和 5 年 10 月 2 日

和光市立第二中学校

〒351-0106 埼玉県和光市広沢 1 番 4 号

TEL 048-462-1793

FAX 048-462-1890

<http://2chu.wako-city.ed.jp/>



「本気」

校長 橋本 真

秋の風にさわやかさを、萩の花に秋の訪れを感じる頃になりました。空の高さや翺雲に心奪われる秋は、思考力も想像力も高まり、学習や読書、心の節をつくるのに最良の季節です。昇降口には、以下のように十月の言葉を掲げました。

十月は、「本気」の月です

実力の差は努力の差 実績の差は責任感の差
中途半端だと愚痴が出る 真剣だと知恵が出る
本気ですから大抵のことはできる
本気ですから何でも面白い
本気ですから誰かが助けてくれる

「本気で勉強に取り組む秋」、「本気でスポーツに打ち込む秋」、「本気で芸術・読書に向き合う秋」でもあります。そして、本気で歌う、三葉祭の準備も始まりました。3年生は、進路選択が間近に迫り2年生と1年生は9月30日・10月1日から始まった地区新人体育大会で連日、熱戦を繰り広げ、ありとあらゆるところに本気で学校生活を送っている生徒の姿があります。

人格形成

先日、昔なじみの私立高校の校長先生が校長室を突然訪ねてきて、昔話に花が咲きました。その中で「本校の役割は、世界へ羽ばたく個の基礎となる人間力を育て、時代の変化にも揺るがない人生の基盤を築いていく。」というような人格形成に重きを置いている教育理念について熱く語っていました。この時期、高校の入試担当者が頻繁に本校を訪れます。また、高校のホームページを開くと人格形成を重要な要素の一つとして掲げています。高校は、中学校から更に成長し、社会人として自立するために

必要な知識や能力を身につける時期です。そのために、学力だけでなく、豊かな人間性や社会性を育むことにも力を入れているのだと思います。高校における人格形成の内容は、次の3つだと思います。1つ目は、自己理解の深化です。自分自身を見つめ直し、自分の強みや弱み、価値観を理解する機会を設けています。2つ目は、他者理解の深化です。共感する力を育むための教育を行っています。3つ目は、社会性・協調性の育成です。社会の一員として、社会規範やルールを守る為の教育を行っています。高校における人格形成は、将来の生き方や社会に貢献する力を育むために重要なものです。3年生の皆さんは、このような教育理念にも目を向けて進路選択の判断としてください。

朝霞地区新人大会

9月27日の壮行会では、各部の部長から力強い決意表明を聞きました。その言葉を信じて各種目の第1日目を観戦し、スポーツのすばらしさを改めて実感しました。まず、スポーツは、勝負を超えた感動や勇気を我々に与えてくれます。それが、中学校スポーツであっても同じことです。新人大会の試合は、本校のどのチームも必死に戦い、白熱した展開となりました。勝っても、負けても胸を張り、前を見据えている選手の姿に成長や努力を垣間見ることができました。新人大会に出場する選手たちは、まだ、中学校1・2年生であり、経験も少ないはずですが、しかし、試合に臨む姿からは、自分の夢や目標に向かってあきらめずに努力する尊さを学びました。新人大会は、中学校スポーツのスタートラインであり、選手たちはこの大会を通じて様々な成長を成し遂げるものと信じています。